

研究事業名：食品の安心・安全確保推進研究事業
研究課題名：検査機関の信頼性確保に関する研究
研究代表者： 小島幸一
研究機関：財団法人食品薬品安全センター秦野研究所
研究期間：平成20年から平成22年

研究目的

食品の安全性確保のために各検査機関で実施されている検査技術等を確認するための精度管理システムの整備ならびに精度管理のための適正試料の作製を検討し、食品衛生検査機関から提出される検査成績の信頼性確保を一層充実させることを目的とした。

研究成果

1) 食品衛生検査機関に対する外部精度管理調査

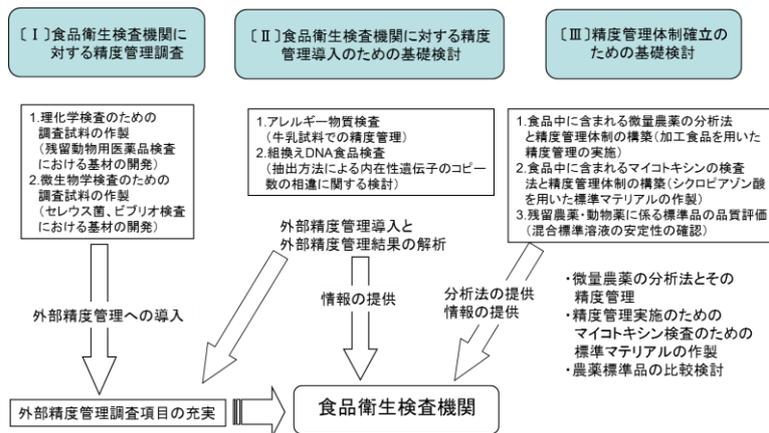
理化学調査（機器分析）および微生物学調査（細菌検査）において外部精度管理調査で使用する新規基材の開発を行った。

2) 精度管理導入のための基礎検討

アレルギー物質検査では模擬食材を作製し、数機関を対象とした精度管理調査を実施した。組換えDNA食品検査では、過去に実施した外部精度管理調査におけるばらつきの原因を究明した。

3) 精度管理体制確立のための基礎検討

残留農薬に関する精度管理の実施では、加工食品を基材として採用し数機関を対象とした精度管理を実施した。マイコトキシン検査に関する精度管理の実施では、ピーナッツ等から検出されるシクロピアゾン酸の調査試料を作製した。標準品の品質評価では、各種保存条件下での標準品の安定性について検証した。



今後の展望

外部精度管理調査は、通常の検査で使用している基材を用いて実施することが理想的であることから、検査現場で必要とする適正調査試料の実用化について継続的に常に新しい試料を検討する必要がある。